

CFX2000 インターフェースカード

ご使用になる前に

このたびは、CFX2000 インターフェースカードをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には本製品を安全にお使いいただくための注意事項を記載しております。

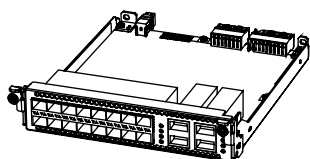
本製品をご使用になる前に、必ず本書と本体装置に同梱の取扱説明書をお読みください。

また、本書は本装置の使用、いつでも参照できるように大切に保管してください。

梱包内容

本製品には、それぞれ以下のものが同梱されています。すべてそろっていることを確認してください。

インターフェースカード本体
(10G SFP+ & 40G QSFP+インターフェース
カードを例にしています)



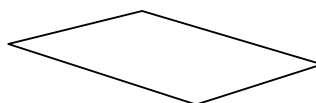
SFP+スロット
キャップ



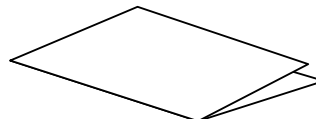
QSFP+スロット
キャップ



製品保証書



ご使用になる前に



- インターフェースカード本体

本製品のことで。

- SFP+スロットキャップ

SFP+スロット未使用時の、ほこり防止キャップです。ご購入時は、SFP+スロットに取り付けてあります。

機種ごとに同梱個数が異なります。QSFP+スロットキャップの説明を参照してください。

- QSFP+スロットキャップ

QSFP+スロット未使用時の、ほこり防止キャップです。ご購入時は、QSFP+スロットに取り付けてあります。

機種ごとに同梱個数が異なります。

製品名	SFP+スロットキャップ	QSFP+スロットキャップ
40G QSFP+ インターフェース カード	なし	8個
10G SFP+ & 40G QSFP+インター フェースカード	16個	4個

- 製品保証書

- ご使用になる前に

本冊子です。

搭載可能装置

CFX2000

安全上のご注意

警告表示について

本書では、人身や財産への危害を未然に防ぎ、本装置を安全に使用いただくために守っていただきたい事項を表示しています。以下の表示と記号の意味、内容をよくご理解のうえ、本書をお読みください。

**警告**

正しく使用しない場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを示します。

**注意**

正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。また、本装置や本装置に接続している機器に損害を与えるおそれがあることを示します。

危害や損害の内容を示すために、以下の記号を使用しています。

記号	記号の意味
	△ で表示された記号は、警告や注意事項を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	○ で表示された記号は、してはいけない禁止行為を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	● で表示された記号は、必ず従っていただく行為の強制、指示を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。

**警告**

本装置を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。正しく使用しない場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを示します。

警告事項	
 接触禁止 近くで雷が発生したときは、本装置、電源ケーブルおよびその他のケーブルに触れないでください。 感電の原因となります。	 注意 梱包に使用しているビニール袋は、お子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないようにしてください。 窒息の原因となります。
 感電注意 サービスマン以外は、カバーを開けないでください。 また、保守時には、必ず電源ケーブルを抜いてください。 感電のおそれがあります。	 禁止 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。 火災・故障の原因となります。
 分解禁止 本装置の分解・解体・改造・再生を行わないでください。 感電・火災・故障の原因となります。	 禁止 インターフェースコネクタには、適合する回線のコネクタ以外のものを絶対に差し込まないでください。 感電・故障の原因となります。
 異物禁止 プラグを抜く 本装置の通気孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。 また、水などの液体を入れないでください。 万一、異物や液体が入った場合は、電源の種類によって以下の処置をしたあと、弊社の技術員または弊社が認定した技術員に連絡してください。 そのまま使用すると、感電・火災・故障の原因となります。 すぐに電源ケーブルのプラグをコンセントから、2本共抜いてください。	 プラグを抜く 万一、発熱、発煙、異臭がするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。電源の種類によって以下の処置をしたあと、煙などの異常がなくなるのを確認し、弊社の技術員または弊社が認定した技術員に連絡してください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。 すぐに電源ケーブルのプラグをコンセントから、2本共抜いてください。
 注意 取り外したネジなどは、小さなお子さまが誤って飲み込むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。 万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	

**注意**

正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷を負うおそれがあることを示します。
また、本装置や本装置に接続している機器に損害を与えるおそれがあることを示します。

注意事項	
 禁止 電源が入っている状態で本装置に長時間（1分以上）触れないでください。 低温火傷の原因となることがあります。	 禁止 本装置が未サポートの拡張モジュールを取り付けないでください。 故障の原因となります。
 禁止 本装置を縦置きおよび段積みしないでください。 落下による怪我・破損・故障の原因となります。	 禁止 直射日光の当たる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。 感電や火災のおそれがあります。
 禁止 本装置を薬品の噴霧気中や薬品に触れる場所など腐食性ガス発生環境下では使用しないでください。 破損・故障の原因となります。	 禁止 電子レンジなど、強い磁界を発生する装置のそばで使用しないでください。 故障の原因となります。
 禁止 本装置をぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。また、強い衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。 落下による怪我・破損・故障の原因となります。	 本装置の通気孔の確保およびケーブル処理に必要な空間をとってください。 本装置を並べて使用する場合でも、それぞれに必要なサービスエリアを設けてください。ケーブルの障害や故障の原因となります。
 禁止 極端な高温または低温環境や温度変化の激しい場所で使用しないでください。 故障の原因となります。本装置の使用温度範囲を守ってください。	 配線工事は、正しく行ってください。 正しい配線工事を行わないと正常な通信が行えないだけでなく、本装置の故障にもつながります。
 禁止 本装置の上に物を置いたり、本装置の上で作業したりしないでください。 本装置が破損・故障したり、作業者が負傷したりするおそれがあります。	 本装置は、屋内に設置してください。 屋外に設置すると故障の原因となります。
 禁止 本装置内部が高温になるため、通気孔をふさがないでください。 火災のおそれがあります。	 禁止 使用中の本装置を布で覆ったり、包んだりしないでください。 熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 禁止 ラジオやテレビジョン受信機のそばで使用しないでください。 ラジオやテレビジョン受信機に雑音が入る場合があります。	 禁止 光源部（レーザー光など）を直接見ないでください。 目を痛めるおそれがあります。

メンテナンスに関するご注意

- 決してご自身では修理を行わないでください。故障の際は、弊社の技術員または弊社が認定した技術員によるメンテナンスを受けてください。
- 本装置をご自身で分解したり改造したりしないでください。本装置の内部には、高電圧の部分および高温の部分があり危険です。

清掃について

本装置を清掃する場合、布に水（または水で薄めた中性洗剤）を含ませ、固く絞ってからふいてください。

ふき取りのときに、本装置のスイッチ類やすきまなどに、水が入らないように十分にご注意ください。

使用上のご注意

- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間は動作保証範囲内の温度で5年が目安です。
- 本製品として提供される取扱説明書、装置本体およびソフトウェアは、お客様の責任においてご使用ください。
- 本製品の使用によって発生する損失やデータの損失については、弊社では一切責任を負いかねます。また、本製品の障害の保証範囲はいかなる場合も、本製品の代金としてお支払いいただいた金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ハイセイフティについて

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについて

法人のお客様から排出される弊社製品は「事業系IT製品リサイクルサービス」（有料）にて回収、リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでいます。

本製品の廃棄については、以下の富士通ホームページをご覧ください。

URL： <http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>

「IT製品の処分・リサイクル」

グリーン製品について

弊社の厳しい環境評価基準をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」です。



- 主な特長
 - 小型／省資源化
 - 節電機能保有
 - 再資源化率が高い

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合したグリーン製品に表示しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、以下の富士通ホームページをご覧ください。

URL :<http://eco.fujitsu.com/jp/>「環境活動」

お取り扱い上の注意事項

本装置を取り扱う際に、以下の点に注意してください。

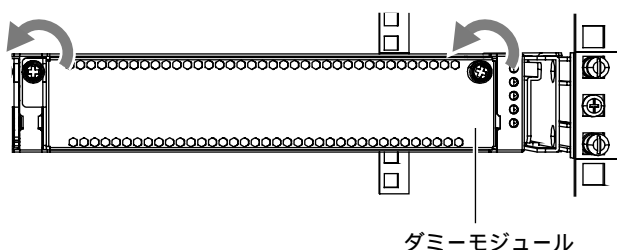
- 本装置の構成定義情報は、設定完了後にお客様自身で管理・保管してください。
万一、故障発生時に弊社で復旧作業を行う場合は、弊社技術員がお客様で管理・保管していた
だいている構成定義情報を使用させていただきます。
この構成定義情報をお客様からご提供いただけない場合は、復旧までに長時間かかる場合があ
ります。
構成定義情報は、適宜バックアップを取り、最新状態のものを管理・保管してください。
- 本装置は、雷や静電気などに対する保護回路を内蔵しています。そのため、雷や静電気などが
装置内に入ると、一部機能が使用できなくなることがあります。
この場合、装置の電源を再投入することで正常な状態に復旧します。なお、電源を再投入して
も一部機能が使用できない、または、電源が入らない場合は、「保護回路で保護しきれない状態
となり装置が破壊された」と考えられます。このような場合は、弊社の技術員または弊社が認
定した技術員にご確認ください。

インターフェースカードを取り付ける

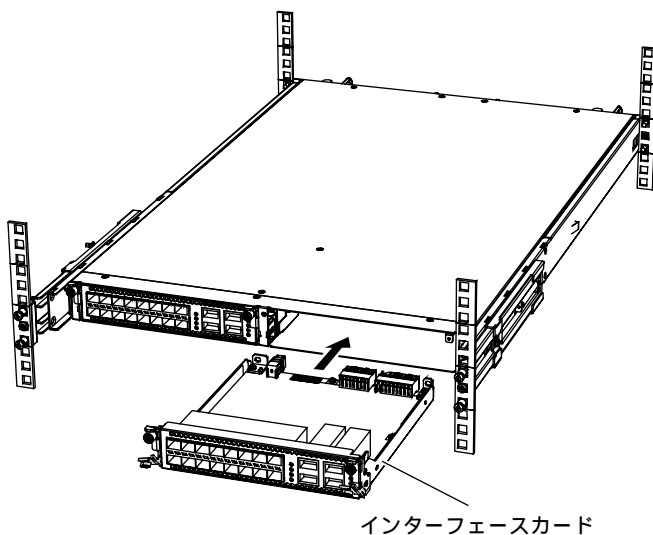
こんな事に気をつけて

- ・ インターフェースカードの取り付け・取り外しは、本装置の電源を切断して行ってください。
- ・ インターフェースカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。インターフェースカードの取り付け・取り外しの際は、静電気除去リストバンドなどを使用してください。

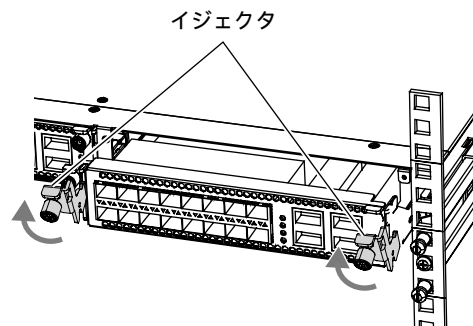
1. 本装置の電源を切断します。
2. ダミーモジュールがある場合は左右のネジをプラスドライバーで回し、ダミーモジュールを外します。



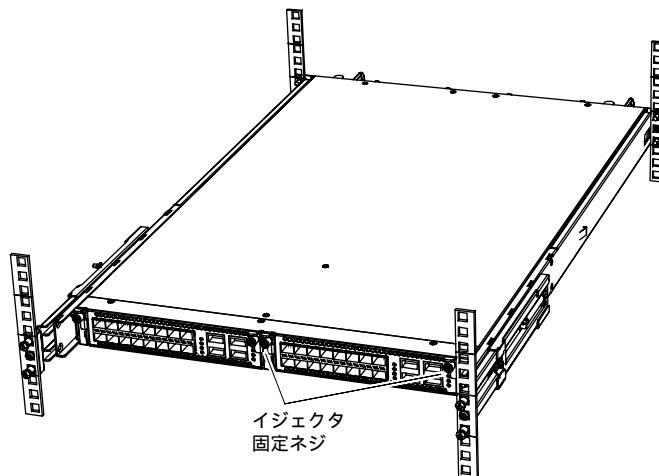
3. インターフェースカードを所定のスロットに挿入します。



4. インターフェースカード両側のイジェクタで挿入します。



5. イジェクタのネジ（2本）をプラスドライバーで締めて、装置本体に固定します。



インターフェースカードを取り外す場合は、取り付けと逆の手順で行います。